

大規模災害支援協力連絡会（大隅ブロック）議事録

場 所：大隅地域振興局

期 日：平成30年5月29日（火） 14：00～

参加者：大隅地域振興局

八木建設部長、下迫田土木建築課長、佐伯河川港湾課長、日高技術補佐
栗野技術補佐兼河川砂防第二係長、上室技術主幹兼河川砂防第一係長
上田技術主幹兼港湾漁港係長、本地技術主幹兼道路維持第一係長、恒吉道路維持第二係長
妙見技術主幹兼技術調整係長、竹下技術主査、平原参事、若松技術主幹、本後技術主幹
北藺参事、福永技術主幹

協 会

上野副会長

連絡責任者（正）大福コンサルタント 福田、下尾崎

連絡責任者（副）コバルト技建 小路口、山下

錦城 海江田、コスモコンサルツ 神田橋、江口測量設計 江口、丸建技術 中尾・渡口

ありあけ測量設計 山之上、池田コンサルツ 池田、三州技術コンサルツ 池端、九州テクノサーチ 炉山

大翔 倉、サコンサルツ 林

議事録

1. 挨拶

あいさつ。（八木建設部長、上野副会長）

2. 連絡会内容

(1) 協定書及び連絡体制について（県）

・協定書の内容確認。（八木建設部長）

(2) 協会資料について（協会）

・支援協力の内容説明。（上野副会長）

3. 意見交換

・ドローンを活用した災害調査について、通行困難箇所等があった場合に有効だと考えている。

協会において、ドローンの活用についてどのように考えているか。また、協会員のなかで、どの程度の会員がドローンを所有しているのか。（八木建設部長）

・協会員のドローン所有社数は把握してはいない。しかし、大隅ブロックにおいても34社の協力会社があるのでドローンを所有している会社も多いと思われる。確認でき次第報告する。（上野副会長）

・ドローン活用において、災害だけではなく色々な場面で活用されている。その中で、飛行制約が色々あるので、協会員がどこまでルールを認知しているのか等を把握し、また、県側よりも留意事項等を提示していただきながら活用していただければと思う。（福田理事）

・大隅地域振興局で管理している道路及び河川等の範囲に対して、協会員の所有ドローン数でも全てを対応することは難しいと思われる。その中で、県側として依頼先を何処にするのか等を検討していただきたい。（小路口理事）

・各台帳図面等について、今後、準備していただけるのか。（下尾崎）

・道路台帳図面については、準備してある。しかし、その他の図面については、まだ準備段階である。また、技術センターで保有している図面データについては、お願いしてあるが準備に時間を要すとの事である。各係の保有図面については、県側で調整する。（妙見技術主幹兼技術調整係長）

・大規模調査を業界のイメージアップに繋がるよう、PRと一緒に取り組みたい。（福田理事）

・支援要請を出した段階で、マスコミへ情報提供をしている。また、HPやSNS等で情報を提供している。（妙見技術主幹兼技術調整係長）

・大規模災害が発生した場合、必要人数等は県側から要請があるのか。（上野副会長）

・28年度は、県道〇〇km河川〇〇kmと数量を提示し、その数量に対して協会側で割り振りをしてもらった。（下迫田土木建築課長）

